「心高める体験交流」

福井県・若狭美浜

仲間とともに味わう達成感
人の温かさに出会う旅

「若狭美浜はあとふる体験」は福井県美浜町の海、山、川、湖、野といった豊かな自然、そして、その土地で育まれた生業、歴史などすべての資源を体験プログラムとしています。体験プログラムは、「漁業」「農林業」「自然・アウトドア」「味覚」「工芸・歴史文化」とバリエーションに富み、「知っている」から一歩進んで「自分でできる」ようになる技能的な高まりはもちろんのこと、体験を通して深められる子どもと地元の人の交流、そして、その交流から生まれる「心の高まり」を大事にしています。

おすすめ体験プログラム

■民泊体験

平成20年度から受け入れを始めた民泊体験は、美浜町内で50軒の簡易宿所登録があり、約200人の受け入れが可能です（平成21年3月現在）。

「若狭美浜はあとふる体験」の民泊は、ありのままの農山漁村生活に溶け込むことができる絶好の体験プログラムとして人気を得ており、ご予約お

心を1つにするボート体験

民泊先での団らん

よび受け入れ家庭数ともに増加し続けています。子どもと受け入れ家族のお互いが積極的に相手を理解したいと思うことによって、人とかかわる面白さを発見することができ、初めて出会う人とともに生活することで自分と家族の関係を顧みる契機となります。

■ボート体験

「若狭美浜はあとふる体験」特有のプログラムがこのボート体験。ボートは、漕ぎ手4人と舵取り（コックス）1人が1艇に乗り込み、湖を漕ぎ進みます。ボートには「1艇ありて1人なし」という名言があり、長けた人が1人いても早く進まず、みんなが心を1つにして、互いを尊重し、同じ動きをしなければ早くまっすぐに進むことはありません。

ボート体験は、まさにチームワークの大切さを肌で感じられるプログラムです。5人それぞれが自分の役割を理解し、その役割を全うしようと努めることで、信頼関係が生まれ、体験を終えた後には仲間と1つになった喜びを感じられること間違いありません。

■大敷網体験・食体験

大敷網は、長さ135㍍、幅100㍍というスケールの大きな網を豊かな海に敷設する若狭地方の伝統漁法です。漁師さんと一緒になって網を巻き上げ、この漁法の仕組みを知ることで、魚の習性や生態系を学ぶことができます。「若狭美浜はあとふる体験」では、生業として今も続いている漁業を体験し、食することまでを1つのプログラムとして考えています。大敷網体験で飛び跳ねる生きのよい魚を見た後、食体験で自分がその魚をさばくことで、今まさにその命をいただいている実感が生まれます。

ソバ打ち体験

昔ながらの田植え

ハウスでの作業体験

「若狭美浜はあとふる体験」特有のプログラムがこのボート体験。ボートは、漕ぎ手4人と舵取り（コックス）1人が1艇に乗り込み、湖を漕ぎ進みます。ボートには「1艇ありて1人なし」という名言があり、長けた人が1人いても早く進まず、みんなが心を1つにして、互いを尊重し、同じ動きをしなければ早くまっすぐに進むことはありません。

ボート体験は、まさにチームワークの大切さを肌で感じられるプログラムです。5人それぞれが自分の役割を理解し、その役割を全うしようと努めることで、信頼関係が生まれ、体験を終えた後には仲間と1つになった喜びを感じられること間違いありません。

■大敷網体験・食体験

大敷網は、長さ135㍍、幅100㍍というスケールの大きな網を豊かな海に敷設する若狭地方の伝統漁法です。漁師さんと一緒になって網を巻き上げ、この漁法の仕組みを知ることで、魚の習性や生態系を学ぶことができます。「若狭美浜はあとふる体験」では、生業として今も続いている漁業を体験し、食することまでを1つのプログラムとして考えています。大敷網体験で飛び跳ねる生きのよい魚を見た後、食体験で自分がその魚をさばくことで、今まさにその命をいただいている実感が生まれます。

「若狭美浜はあとふる体験」では、初めて出会う人と交流を深め、学校生活をともにする仲間と同じ達成感を味わうことができます。一生に1度の修学旅行。「ほんもの」の体験交流を通して、人間関係の構築能力、豊かな人間性を育んでいただきたいと願っています。

若狭美浜はあとふる体験推進協議会
コーディネート
NPO法人はあとふる美浜ネットワーク

〒919-1122　福井県三方郡美浜町松原35-16-18
TEL 0770-32-2222　FAX 0770-32-2239
E-mail : wakasamihama@kl.mmnet-ai.ne.jp
URL http : //heartful-mihama.com/

広島湾ベイエリア

温暖な気候に恵まれた
広島湾の自然を体験

広島湾域は、多島美で知られる瀬戸内海の西に位置し、厳島神社（宮島）と原爆ドームという2つの世界遺産を有する地域です。

湾域の中心部は、中国地方をリードする産業、経済の中心都市の広島市がありますが、少し足を延ばすと湾域全体にわたり豊かな自然に恵まれています。海はもとより、山、里、川とのかかわりが深く、そこに暮らす人々は、穏やかで美しい瀬戸内海の温暖な気候の中で、地域色豊かな生活文化を育んできました。

広島・山口両県の6市3町（広島市、呉市、江田島市、廿日市市、大竹市、岩国市、坂町、和木町、周防大島町）の自治体や経済団体などで構成する「広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会」では、地域の自然や生活文化を活かした体験プログラムを整備し、体験型修学旅行の受け入れを行っています。

当地域には、厳島神社（宮島）と原爆ドームという2つの世界遺産に加え、呉市の「大和ミュージアム」、江田島市の「海上自衛隊第1術科学校」など、日本を代表する歴史・文化遺産を有しており、世界平和への取り組みはもとより、日本の伝統や歴史文化を体験学習できます。

また、穏やかな風波、潮流、適切な水温に恵まれた広島湾では、カキ養殖をはじめ、底引き網漁、吾智網漁、刺し網漁といった漁法で、アジ、メバル、黒鯛、タチウオなどの漁業が盛んです。また、広島湾域の温暖な気候は、「みかん」をはじめとした野菜・柑橘類の栽培にも適しており、他の地域にはない自然環境の中で、農林漁業をのびのびと体験することができます。なかでも、島しょ部に暮らす人々との民泊体験では、心の交流が深まり、子供たち1人ひとりの大切な思い出として刻まれます。

【倉橋島】

呉市南方の瀬戸内海に浮かぶ倉橋島では、瀬戸内海のカレイやシタビラメといった底もののおいしい魚を狙い、網を揚げる底引き網漁、獲れた魚を使ったバーベキュー、その他、アジの開きづくり指導や、漁村生活を語らう交流体験など、「楽しく学ぶ」をモットーに子供たちをお迎えしております。

【周防大島】

周防大島は、山口県東南部に位置し、瀬戸内海に浮かぶ島では3番目の広さを誇り、年間平均気温15・5度と温暖な、青く澄みわたる瀬戸内の海と四季の彩り豊かな美しい自然から、漁業、農業はもとよりスポーツ、レジャーが盛んな町です。民泊体験をはじめ、柑橘類栽培作業や畑仕事の農家体験、カヌー、建て網漁など、気さくな島人と触れ合う豊富な体験メニューをお楽しみください。

【平和学習】

広島は、第二次世界大戦中の1945年（昭和20年）8月6日に、世界で初めて原子爆弾が投下され、大きな被害を受けました。原爆ドーム、平和記念資料館、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館、慰霊碑、被爆建物などの見学や被爆体験証言者の話から、原爆の恐ろしさ、非人道性を肌で感じます。被爆地広島で「核兵器が人類の破滅をもたらし人類とは共存しない兵器であること」「戦争が多くの命や愛する家族、友人、財産を奪ってきたこと」「命の大切さ」について学んでください。

広島の原爆ドーム

倉橋島の底引き網漁体験

地引き網・みかん収穫体験（周防大島）

宮島シーカヤック

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所 商工部 観光振興チーム内）
担当（大巳）
営業時間　月～金曜日　8:30～17:30（祝日は除く）

〒730-8510　広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6651　FAX 082-222-6411
E-mail : Hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http : //www.hiroshima-marugoto.jp/

和歌山県

和歌山「ほんまもん体験」の修学旅行
壮大な自然の中、地域の方との心温まる交流体験

和歌山県では、平成14年から、体験観光メニューを「ほんまもん体験」のブランド名で売り出し、現在337のメニューがあります。

ほんまもん体験の魅力は、なんといっても「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録された高野山や熊野古道、「ラムサール条約」に登録された、世界北限のサンゴの群落を見ることができる、串本沿岸海域など、世界が認めた地域で、歴史・文化体験やスポーツ体験ができることです。また、和歌山ならではの伝統工芸品や特産品を自分の手で作る体験も多く、参加者の方から達成感、充実感が得られると好評です。

また、体験を通して地域在住のインストラクターとの交流を深め、より和歌山を理解してもらう、そんな心温まる経験ができます。

このように、魅力いっぱいの「ほんまもん体験」の中から、ぜひ、修学旅行で体験してほしいメニューを紹介します。

〈海の体験〉

◆スノーケリング体験

ラムサール条約に登録された串本地域でのスノーケリング体験は、一度海中に顔をつけると、これが本州なのかと思うくらい豊かなサンゴの群落があります。亜熱帯の生物がたくさん生息しています。年間平均水温も16～20度と暖かく、春や秋にも体験可能です。

〈山の体験〉

◆紀州備長炭炭焼き作業体験

炭の高級ブランド「紀州備長炭」。製炭技術は和歌山県無形民俗文化財にも指定されています。その伝統的な産業体験を、この道70年の製炭士から森の仕組みに始まり炭作りの匠の技までを伝授していただきます。

◆梅作業体験

日本一の高級ブランド「南高梅」。剪定作業やもぎとり体験、梅干し、ジャムやジュース作りなど、シーズンを通してさまざまな体験ができます。世界で自分だけの梅干しを作り、御賞味ください。

※和歌山県では、修学旅行にかかわる事前視察も受け付けています。ぜひ、現場で「ほんまもん体験」を体感してください。

県の無形民俗文化財にも指定されている紀州備長炭炭焼き作業体験

スノーケリングで見られるサンゴの群落

シーズンを通してさまざまな梅作業体験

和歌山県観光局観光交流課
社団法人和歌山県観光連盟

〒640-8585　和歌山市小松原通1-1
TEL 073-441-2785　FAX 073-427-1523
E-mail : e 0625001@pref.wakayama.lg.jp
URL http : //kanko.wiwi.co.jp/

和歌山県・日置川

こんなに感動するとは
思わなかった
大好き日置川の会

和歌山県白浜町は紀伊半島の南部に位置する歴史ある温泉地。その温泉街から海岸沿いに40分南下すると「ほんまもん体験」の里、日置川エリア。海沿いは「熊野枯れ木灘県立自然公園」、川沿いは「大塔日置川県立自然公園」、中流域では世界文化遺産「熊野古道・大辺路（おおへち）」が通り、日置川を手漕ぎ船で渡ります。温暖で豊かな自然に育まれた生活文化、そこで暮らす穏やかで温かい人々が体験リーダーであり、民泊の担い手です。

平成11年開催の南紀熊野体験博覧会を機に始まった「ほんまもん体験」は、技術や知識を伝え、地域の誇りや自分の生き様、物語を伝え、体験を通して交流し、互いに高め合うことが目標。プログラムは60種類以上あり、農林漁業体験、伝統工芸の藍染体験、陶芸体験、味覚体験など、経験豊かな体験リーダーの指導を受け交流を終えた後には、大きな感動と達成感、自信を得て生き生きとした表情に変わります。

家族の一員として受け入れる民泊では、一緒に畑で野菜を採り、夕食を作ると、野菜嫌いの生徒さんが「ここのキュウリはおいしい」と言い、食べ物を大切にします。一軒に3～5人ずつ泊まり320人を受け入れ可能になりました。保健所、消防署、警察署と連携を組んでいます。

おすすめプログラム

◆紀州備長炭作業体験

県の無形文化財である紀州備長炭づくりを通して、森を守りながら利用する自然との共生、人々の知恵、伝統産業を学び、とり講習会を実施し、安全管理、衛生指導を徹底しています。

また、川沿いと海沿いにある10軒の民宿に分宿して、宿の主人やおかみさんと一緒に各民宿が得意とするプログラムでの体験民宿も好評です。

大好き日置川の会では、地域コーディネートは、組織として修学旅行、教育旅行などの提案、調整、下見、手配、精算のすべてを1つの窓口で受け、もう一度行きたくなる感動体験「ほんまもん体験」に地域一丸となって取り組んでいます。

暖化の原因となるCO_2の吸収、川を守る山の保水力、川が守られて海が守られる、山を守り育てる大切さを学びます。

山の手入れの1つ、間伐の必要性などを学習しながら、のこぎりを使って間伐作業を行います。安全に十分配慮したプログラムです。

◆リバーカヌー体験

日置川の川原で準備体操の後、基本練習を十分にして川へ入るので初心者でも安心。川底の石ま

ます。気圧に左右され調整が難しい「窯だし」はこれぞ匠の技。1300度の熱い炎との戦いであり、灰まみれになりながらの貴重な作業体験です。

◆林業間伐体験

紀州木の国と呼ばれ古くから杉桧の良質材の産地でしたが、近年手入れが行き届かない山が多くなりました。環境学習としての森林は地球温暖化の原因となるCO_2の吸収、川を守る山の保水力、川が守られて海が守られる、山を守り育てる大切さを学びます。

山の手入れの1つ、間伐の必要性などを学習しながら、のこぎりを使って間伐作業を行います。安全に十分配慮したプログラムです。

◆リバーカヌー体験

日置川の川原で準備体操の後、基本練習を十分にして川へ入るので初心者でも安心。川底の石ま

ではっきり見える清流日置川を下る心地よさ。人々の暮らしを守ってきた川文化を学びながら、飛び跳ねる鮎を目の当たりに野趣あふれる日置川ならではの感動体験です。

◆ドラゴンボート体験

8艇あり、チームを組んで役割を分担、呼吸を合わせて練習し、最後はレースをしてチームワークの良さを競います。緩やかな流れのなかでの競技なので安心です。

◆世界文化遺産熊野古道大辺路トレッキング

大辺路コースは、険しく修験者や文人墨客が通ったといわれています。熊野へ続く神聖な路にふさわしい植物もいろいろあり、インストラクターの説明を聞きながら熊野信仰が盛んだった歴史背景も想像できます。

民泊での楽しい夕食のひと時

日置川でのカヌー体験

夕食作りでのイカの皮むき

稲を刈り、干す作業体験

大好き日置川の会
事務局員直通携帯：090-5661-3555

〒649-2511和歌山県西牟婁郡白浜町日置980-1
TEL 0739-52-2302　FAX 0739-52-2186
E-mail daisuki-hikigawa@town.shirahama.wakayama.jp
URL http : //www.daisuki-hikigawa.com